

平成二十六年八月二十五日

生産性の向上と言はば政治家、経営者、學者擧つてその必要を説く。特に個々の企業に取り生産性はその死活に係る大事なり。個々の企業は市場の競争の只中にあれば、生産性の向上を怠れば直ちに脱落すといふ。

余ソニーに在職中工場を訪れ現場を視察すること屢なりき。工場の技術者の血の滲むが如き技術開発の説明を聞きたび、その果實の歸する所を問ふ。技術者苦笑しつつ曰く、コストの下りし分營業製品價格の引き下げにてこれを吐き出すなりと。競争の厳しき中、生産性向上の果實社内に留まることなし。

テレビ生産の過程のうち決め手は組立ての最終工程たる畫面調整作業なり。曾つては女工ベルトコンベアの傍らに立ちて、鏡に映し出だされたる畫面のテストパターンを睨みつつセットの裏側に手を入れ複雑なるねぢの調整を行へり。最初歪みたるパターンもねじの調整によりやがて正常なる姿を現す。作業終へ、コンベア次のセットを送り込む。この作業忍耐と正確さを要し、まさに日本の熟練工に適したるものなりき。

されど技術開発の結果、鏡に映るテストパターンに代はりて數字を表すディスプレイ導入せらる。この新方式なれば東南アジアの未熟練工にてもテレビゲームの如くよく之を操作するを得。これにより高コストの日本工場は閉鎖せられ、生産活動は東南アジアに移るに至れり。

學者をして言はしむれば、日本の産業はより高度の分野に移行せば些かも問題なしと。されどそれは具體的には如何なる産業にか、また職を失ひし女工は如何にすべきかについては更に檢證なし。

およそ社會に在りてその生産物の分配にあづかるは、生産關係を通じ、生産への寄與に應じてなることは古今東西を問はず、世の常なり。そは假に擬制なりとせよ、その建前において事處せらるる限り、分配の結果につき大方の支持を得ることは可能なり。

然るに生産關係より放出せらるる労働者増大し舊來の分配システム機能不十分とあらばこれに代はる分配システム出現せざるを得ず。これ財政の出勤なり。抜本的解決策なき限り長期的には財政の破綻はいはば必定なり。生産性向上のマクロの影響はその速度は遅々たるものにせよ絶ゆることなきものなり。炭酸ガスによる氣候温暖化にも相似たり。

惟ふにロボットの本格的利用により、只今指摘せる生産性向上のマイナス面大方の目にも明らかとなるべし。勿論一面において生産性向上の急務なることは疑ひを入れず。されど引き續きこれに努力を傾注すると同時に時を失せずその分配關係に及ぼすマイナス効果につき眞劍なる論議を行はざるべからず。皮肉にも生産性向上競争の勝者、その論議をリードすることとなるべし。

